



平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月10日

上場取引所 東

上場会社名 清和中央ホールディングス株式会社
 コード番号 7531 URL <http://www.seiwa-chuo-holdings.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)阪上 正章
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)阪上 恵昭 (TEL)06-6581-2141
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|--------------|--------|-------|------|-------|------|-------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年12月期第1四半期 | 10,309 | 0.2 | 439 | 108.2 | 449 | 103.9 | 273 | 86.3 |
| 28年12月期第1四半期 | 10,287 | △20.1 | 211 | 6.3 | 220 | 4.0 | 146 | 1.7 |

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 284百万円 (219.2%) 28年12月期第1四半期 89百万円 (△48.3%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年12月期第1四半期 | 69.76 | — |
| 28年12月期第1四半期 | 37.44 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年12月期第1四半期 | 28,043 | 12,493 | 43.8 |
| 28年12月期 | 28,789 | 12,305 | 42.0 |

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 12,285百万円 28年12月期 12,100百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年12月期 | — | 0.00 | — | 24.00 | 24.00 |
| 29年12月期 | — | — | — | — | — |
| 29年12月期(予想) | — | 0.00 | — | 22.00 | 22.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|------|------|-------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 22,000 | 8.7 | 560 | 25.7 | 600 | 21.9 | 380 | 14.5 | 97.05 |
| 通期 | 46,000 | 10.1 | 970 | 4.1 | 1,050 | 3.4 | 670 | △1.5 | 171.11 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料) P. 7 「3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|-------------|------------|-------------|------------|
| 29年12月期 1 Q | 3,922,000株 | 28年12月期 | 3,922,000株 |
| 29年12月期 1 Q | 6,309株 | 28年12月期 | 6,309株 |
| 29年12月期 1 Q | 3,915,691株 | 28年12月期 1 Q | 3,915,691株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|-------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財務状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 2 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 2 |
| (2) 追加情報 | 2 |
| 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費には依然として力強さが見られないものの、企業の設備投資は持ち直しの動きとなる中、企業収益は改善し、緩やかながらも景気は回復基調となりました。一方、国際経済は、米国ではトランプ政策への期待もあり堅調に推移し、欧州ユーロ圏も回復基調を維持、中国では政府による景気対策を背景に持ち直しの動きとなり、ASEAN諸国も総じて緩やかな回復傾向が継続しましたが、世界経済の先行きは、地政学的リスクや政策に関する不確実性の影響等に留意を要する状況となりました。

鉄鋼流通業界におきましては、国内鋼材需要は底堅く推移する一方、原料炭価格が一時急落する反面、鉄鉱石価格が上昇するなど、原材料価格の変動が著しい展開となりましたが、鉄鋼価格の下落には至らず、スクラップ価格も総じて上昇する動きとなり、鉄鋼流通業界としては堅調な展開となりました。

このような環境の下、当社グループは、さらなる在庫の適正化、販売価格の維持と販売量の確保に重点を置き、きめ細かい営業活動に注力してまいりました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、103億9百万円（前年同期比0.2%増）となり、営業利益4億39百万円（前年同期比108.2%増）、経常利益4億49百万円（前年同期比103.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億73百万円（前年同期比86.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億45百万円減少し、280億43百万円となりました。この主な要因は、商品の増加4億49百万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少10億92百万円があったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ9億33百万円減少し、155億50百万円となりました。この主な要因は、短期借入金の増加7億20百万円があったものの、支払手形及び買掛金の減少17億62百万円があったことによるものであります。

この結果、純資産は、前連結会計年度末に比べ1億87百万円増加し、124億93百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月17日に公表いたしました平成29年12月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(厚生年金基金の解散について)

当社が加入しております「大阪鉄商厚生年金基金」は、平成27年3月2日開催の代議員会の決議に基づき、厚生労働大臣に対して解散認可申請を行い、平成29年3月31日付で解散が認可されました。

また、当社の連結子会社である中央鋼材株式会社が加入しております「東京金属事業厚生年金基金」は、平成27年9月18日開催の代議員会の決議に基づき、厚生労働大臣に対して解散認可申請を行い、平成29年3月22日付で解散が認可されました。

これらの厚生年金基金は現在清算手続中であり、解散に伴う費用の発生と連結業績に与える影響については、現時点において金額を合理的に算定できません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日) |
|-------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 914,547 | 734,161 |
| 受取手形及び売掛金 | 13,499,393 | 12,406,580 |
| 商品 | 3,212,425 | 3,662,046 |
| 繰延税金資産 | 39,624 | 39,660 |
| 前渡金 | 1,710,135 | 1,943,192 |
| その他 | 463,106 | 283,768 |
| 貸倒引当金 | △56,231 | △47,736 |
| 流動資産合計 | 19,783,001 | 19,021,673 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,385,239 | 1,370,245 |
| 土地 | 4,947,781 | 4,947,781 |
| その他（純額） | 752,539 | 789,272 |
| 有形固定資産合計 | 7,085,560 | 7,107,299 |
| 無形固定資産 | 76,711 | 69,149 |
| 投資その他の資産 | | |
| 繰延税金資産 | 23,006 | 20,783 |
| その他 | 1,823,656 | 1,827,422 |
| 貸倒引当金 | △2,494 | △2,701 |
| 投資その他の資産合計 | 1,844,167 | 1,845,503 |
| 固定資産合計 | 9,006,440 | 9,021,953 |
| 資産合計 | 28,789,441 | 28,043,626 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 10,823,775 | 9,060,845 |
| 短期借入金 | 2,480,000 | 3,200,000 |
| 未払法人税等 | 260,228 | 157,919 |
| 賞与引当金 | 21,433 | 69,465 |
| 役員賞与引当金 | 34,000 | 7,755 |
| その他 | 1,154,684 | 1,369,123 |
| 流動負債合計 | 14,774,121 | 13,865,109 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 1,171,981 | 1,172,636 |
| 役員退職慰労引当金 | 219,086 | 219,461 |
| 退職給付に係る負債 | 153,159 | 155,174 |
| その他 | 165,414 | 138,152 |
| 固定負債合計 | 1,709,641 | 1,685,424 |
| 負債合計 | 16,483,762 | 15,550,533 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 735,800 | 735,800 |
| 資本剰余金 | 601,840 | 601,840 |
| 利益剰余金 | 10,149,623 | 10,328,794 |
| 自己株式 | △26,112 | △26,112 |
| 株主資本合計 | 11,461,151 | 11,640,322 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 639,669 | 645,205 |
| その他の包括利益累計額合計 | 639,669 | 645,205 |
| 非支配株主持分 | 204,858 | 207,564 |
| 純資産合計 | 12,305,679 | 12,493,092 |
| 負債純資産合計 | 28,789,441 | 28,043,626 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 10,287,174 | 10,309,122 |
| 売上原価 | 9,247,833 | 9,014,361 |
| 売上総利益 | 1,039,341 | 1,294,760 |
| 販売費及び一般管理費 | 828,011 | 854,843 |
| 営業利益 | 211,329 | 439,916 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 906 | 857 |
| 受取配当金 | 952 | - |
| 仕入割引 | 11,155 | 11,846 |
| その他 | 4,644 | 6,498 |
| 営業外収益合計 | 17,659 | 19,202 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5,085 | 2,028 |
| 売上割引 | 2,789 | 2,480 |
| 会員権退会損 | - | 2,000 |
| その他 | 434 | 2,699 |
| 営業外費用合計 | 8,309 | 9,207 |
| 経常利益 | 220,679 | 449,911 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 220,679 | 449,911 |
| 法人税等 | 72,472 | 171,187 |
| 四半期純利益 | 148,207 | 278,724 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 1,596 | 5,576 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 146,610 | 273,147 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 148,207 | 278,724 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △59,100 | 5,695 |
| その他の包括利益合計 | △59,100 | 5,695 |
| 四半期包括利益 | 89,106 | 284,419 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 88,025 | 278,683 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 1,080 | 5,736 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------|-----------|---------|------------|--------------|----------------------------|
| | 西日本 | 東日本 | その他 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,546,399 | 4,735,478 | 5,296 | 10,287,174 | — | 10,287,174 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 20,210 | 1,851 | 215,708 | 237,770 | △237,770 | — |
| 計 | 5,566,609 | 4,737,330 | 221,004 | 10,524,944 | △237,770 | 10,287,174 |
| セグメント利益 | 134,570 | 69,752 | 144,719 | 349,042 | △128,362 | 220,679 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△128,362千円は、セグメント間の取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------|-----------|---------|------------|--------------|----------------------------|
| | 西日本 | 東日本 | その他 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,281,475 | 5,022,466 | 5,180 | 10,309,122 | — | 10,309,122 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 19,066 | 7,428 | 272,524 | 299,019 | △299,019 | — |
| 計 | 5,300,541 | 5,029,895 | 277,704 | 10,608,141 | △299,019 | 10,309,122 |
| セグメント利益 | 204,114 | 228,655 | 194,027 | 626,797 | △176,885 | 449,911 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△176,885千円は、セグメント間の取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。